

社

＝

第 1 日  
社 会

(10:40～11:30)

注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから10ページに、問題が□1から□4まであります。  
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

1 あるクラスの社会科の授業で、資源に関する日本と世界の結びつきについて学習しました。次の文章は、このときの先生と生徒の会話の一部です。これを読んで、あとの1～4に答えなさい。

先生：日本は石油などの資源をほとんど外国に依存しており、鉄鉱石についてもほぼ100%輸入しています。表Iを見てください。日本の輸入先上位の国はどこですか。

花子さん：オーストラリア、ブラジル、南アフリカ共和国などです。

太郎さん：①遠いところから輸入していますね。なぜこんな遠い国から輸入しているのかな。

次郎さん：オーストラリアやブラジルでは、日本などの企業を受け入れて大規模に開発を進めていることを学習したね。鉄鉱石を大量に産出するから輸出するのではないかな。

花子さん：アフリカにも、②さまざまな資源のある国が多く、それらの国の中には経済を③特定の資源の輸出に依存している国があることも学習したよね。

次郎さん：だから、鉄鉱石の産出量が多い国は、日本などへ鉄鉱石をたくさん輸出しているんだね。

先生：必ずそうなるといえるでしょうか。鉄鉱石に関わる統計を調べてみましょう。

花子さんたちは、鉄鉱石の産出量、輸入量、鉄鋼（粗鋼）の生産量の上位5か国とその量について調べ、表IIを作成しました。

表I  
日本の鉄鉱石の輸入先上位5か国とその量

国名	輸入量(万t)
オーストラリア	8,020
ブラジル	3,650
南アフリカ共和国	460
インド	340
チリ	130
輸入合計	12,840

(日本国勢図会 2013/14年版による。)

表II

鉄鉱石の産出量の上位5か国とその量		鉄鉱石の輸入量の上位5か国とその量		鉄鋼(粗鋼)の生産量の上位5か国とその量	
国名	産出量(万t)	国名	輸入量(万t)	国名	生産量(万t)
中国	41,200	中国	68,670	中国	70,190
オーストラリア	27,700	日本	12,840	日本	10,760
ブラジル	24,800	韓国	6,480	アメリカ	8,630
インド	15,400	ドイツ	3,960	インド	7,340
ロシア	6,000	オランダ	3,340	ロシア	6,880
世界計	139,000	世界計	114,030	世界計	153,590

(日本国勢図会 2014/15年版, Steel Statistical Yearbook 2013による。)

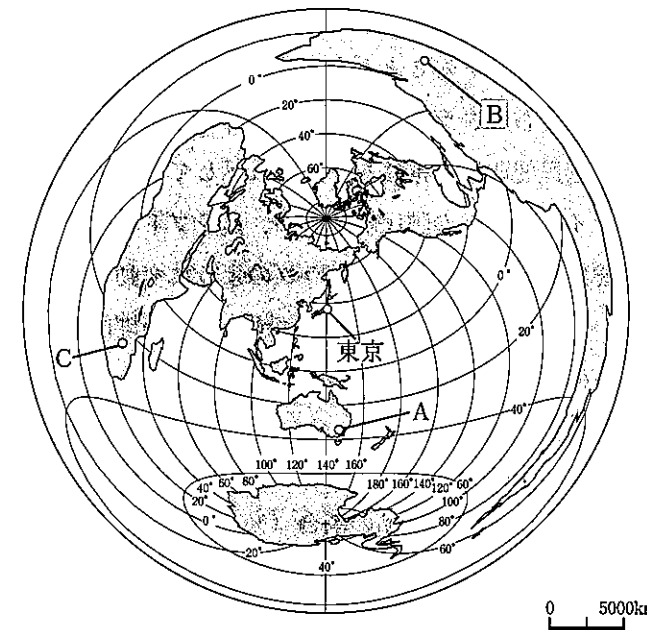
次郎さん：あれ、表IIを見ると、産出量は中国が最大だよ。産出量も多く距離も近いのにどうして表Iの日本の輸入先上位5か国になっていないのかな。

太郎さん：それは、 からだと考えられます。

先生：そうですね。だから鉄鉱石については、産出量が多くて距離も近い中国よりも、遠いオーストラリア、ブラジルなどの国と日本は結びついているのですね。

1 下線部①に関して、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 右の地図中のA～Cは、オーストラリア、ブラジル、南アフリカ共和国のそれぞれの首都を示しています。A～Cの首都を、東京との距離が近い順に並べ、その記号を書きなさい。



(この地図は東京からの距離と方位が正しくあらわされています。)

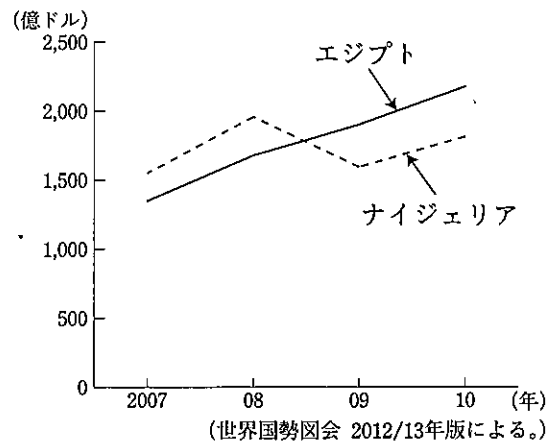
(2) 次の表は、日本における海上輸送と航空輸送について、総輸入額、総輸入量、主な品目をそれぞれ示しています。どのような品目が海上輸送に適していると考えられますか。表をもとに、簡潔に書きなさい。

輸送方法	海上輸送	航空輸送
総輸入額(億円)	552,497	151,302
総輸入量(万t)	79,904	159
主な品目	原油 液化ガス 石炭 鉄鉱石	医薬品 半導体等電子部品 事務用機器 科学光学機器

(国土交通省ウェブサイト, 日本国勢図会 2013/14年版・2014/15年版による。)

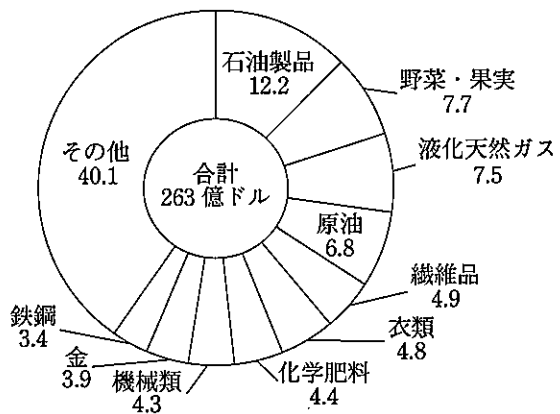
2 下線部②に関して、現在、コンピュータ、携帯電話などの電化製品や自動車などの生産にはさまざまな資源が使われています。これらの資源のうち、埋蔵量が非常に少ない金属や、純粋なものを取り出すことが技術的・経済的に難しいため生産量が少ない金属があります。これらの金属の総称を何といいますか。その名称を書きなさい。

3 下線部 ③ に関して、花子さんは、アフリカの国々の経済について学習を進め、エジプトとナイジェリアのさまざまな統計を比較してみました。右のグラフは、エジプトとナイジェリアの国民総所得の推移をそれぞれ示しています。ナイジェリアの国民総所得が、エジプトの国民総所得と比較して右のグラフのように変動しているのはなぜだと考えられますか。その理由を、下のグラフⅠ～Ⅲをもとに、簡潔に書きなさい。



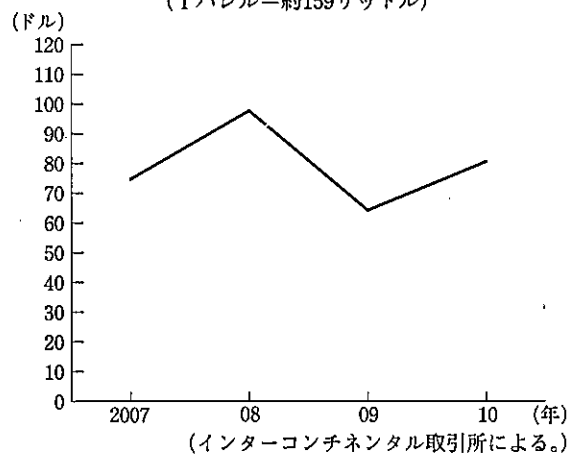
グラフⅠ

エジプトの輸出品の割合 (%)



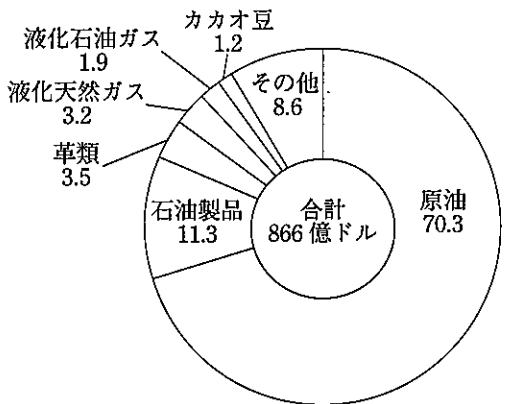
グラフⅢ

1 バレルあたりの原油価格の推移  
(1バレル=約159リットル)



グラフⅡ

ナイジェリアの輸出品の割合 (%)



(世界国勢図会 2012/13年版による。)

4  に関して、なぜ、中国は日本の鉄鉱石の輸入先上位5か国に入っていないのかという次郎さんの問いに対して、太郎さんは表Ⅱをもとに意見を述べました。太郎さんの意見はどのようなものだと考えられますか。  にあてはまるように書きなさい。

2 あるクラスの社会科の授業で、「日本は外国からどのような影響を受けてきたか」という視点から、各時代のできごとについて学習しました。次のA～Dのカードは、各時代のできごとに関わる絵や写真について調べ、わかったことをそれぞれまとめたものです。これを見て、あとの1～6に答えなさい。

A

帝国衆議院絵図

○帝国議会の開設

左の絵は、日本で最初に開かれた帝国議会の様子を示しています。帝国議会はヨーロッパの立憲主義の影響を受けて開設されました。また、この帝国議会が開設されるまでに、国民の間でさまざまな運動が行われたことがわかりました。

B

聖堂講釈図

○寛政の改革

左の絵は、幕府の学問所で、武士が学んでいる様子を示しています。寛政の改革を進めた松平定信は、秩序を重視するため、中国から伝えられた朱子学を武士に学ばせました。また、政治を立て直すため、徳川吉宗の政治を理想とした政策を行ったことがわかりました。

C

東大寺の大仏

○東大寺大仏の造立

左の写真は、東大寺にある大仏を示しています。聖武天皇がこの大仏をつくらせたころ、中国から伝えられた仏教は国家の保護を受けていました。そして、聖武天皇は、仏教には  と考えていたために、大仏をつくらせたことがわかりました。

D

○国際連合への加盟

左の写真は、日本の国際連合への加盟の翌年に発行された切手を示しています。第二次世界大戦後、日本は世界の平和に貢献する国際協調の考え方を取り入れました。しかし、日本の加盟は、戦後すぐにはではなく、  をきっかけに、ようやく認められたことがわかりました。

1 下線部 ① に関して、民選議院設立建白書の提出をきっかけに、政府に対して国民の権利や議会政治の実現を求める運動が起こりました。この運動を何といいますか。次のア～エのうちから選び、その記号を書きなさい。

ア 護憲運動    イ 尊王攘夷運動    ウ 自由民権運動    エ 五・四運動

社—3

社—4

2 下線部 ② について、寛政の改革は、それ以前に田沼意次が行った政策とは異なる方針で進められました。次のア～エは、松平定信が行った政策と田沼意次が行った政策のいずれかを示しています。ア～エのうち、松平定信が行った政策はどれですか。二つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 旗本や御家人の借金を帳消しにした。 イ 長崎から海産物をさかんに輸出した。  
ウ 株仲間をつくることを奨励した。 エ 都市への農民の出かせぎを制限した。

3 Cのカードに関して、次の文は、大仏がつくられたころに起こったできごとについて述べたものです。聖武天皇は、仏教にはどのような力があると考えて大仏をつくらせましたか。この文をもとに、**a** にあてはまるように書きなさい。

聖武天皇の即位後、伝染病が流行して有力な貴族が相ついで病死したり、大宰府の役人が反乱を起こしたりした。

4 **b** にあたるできごとは何ですか。次のア～エのうちから選び、その記号を書きなさい。

- ア 日中国交正常化 イ 日ソ国交回復  
ウ 日米安全保障条約の締結 エ 第一回主要国首脳会議の開催

5 次のア・イは、室町時代と江戸時代にえがかれた絵のいずれかを示しています。ア・イのうち、室町時代にえがかれた絵はどちらですか。その記号を書きなさい。また、その記号が答えとなる理由を、右の資料から読み取れる室町時代の文化の特色と関連づけ、「禅宗」の語を用いて、簡潔に書きなさい。

<p>ア</p> <p>秋冬山水図 ・冬景図 (雪舟等揚)</p>	<p>イ</p> <p>富嶽三十六景 神奈川沖波裏 (葛飾北斎)</p>
---	--

資料

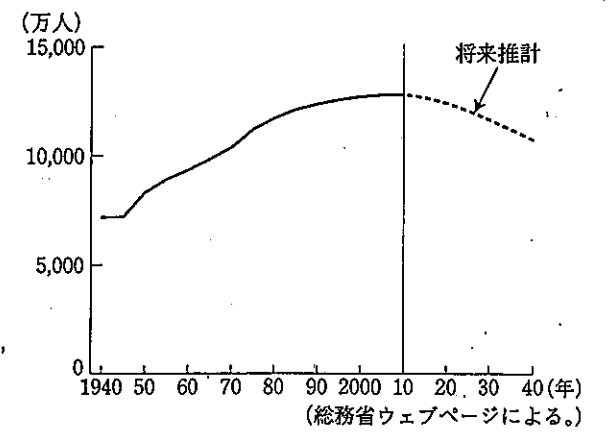
書院造り

石庭 (龍安寺)

6 次のXは、日本の政治に影響を与えた外国のできごとを示しています。A～DのカードとXにそれぞれ示されたできごとを年代の古い順に並べると、Xのできごとは、A～Dのカードに示されたできごとのうち、どのできごととどのできごとの間に入りますか。その記号を書きなさい。

X アヘン戦争が始まる。

③ 右のグラフは、1940年(昭和15年)から2010年までの日本の人口の推移を——で、2011年から2040年までの日本の人口の将来推計を-----で示しています。このグラフにもとづいて、あるクラスの社会科の授業で、「人口の変化と日本の社会」というテーマについて、班に分かれてそれぞれ話し合いました。下のカードIとカードIIは、A班とB班が自分たちの主張とその根拠をそれぞれまとめたものです。これらを見て、あとの1～6に答えなさい。



カードI

**A班の主張**  
活力ある社会をつくるためには人口の減少を防ぐ必要があります。

**根拠**

- ・労働者が減少すると、企業は生産の規模を縮小しなければなりません。
- ・消費者が減少すると、①消費支出も減少するので、市場の規模も縮小します。
- ・介護をする人が減少するなど、社会保障制度の維持が難しくなります。
- ・過疎化が進むと、②地方公共団体の財政の維持が難しくなるので、住民に対してサービスを十分に提供できなくなります。

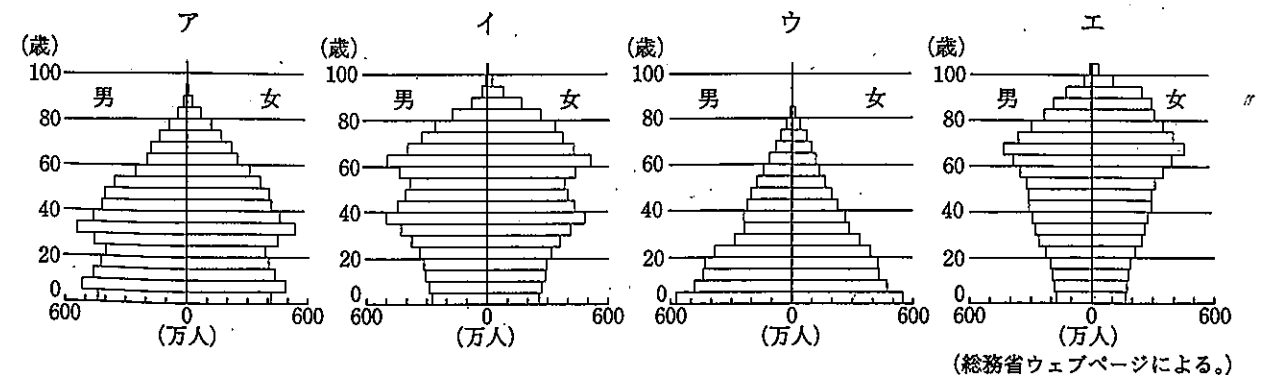
カードII

**B班の主張**  
活力ある社会をつくることは人口が減少してもできます。

**根拠**

- ・③制度を充実させ、これまで就業しにくかった人々も働きやすくすることができます。
- ・市場の規模に合わせて消費活動を行うなどの取り組みができます。
- ・地域で支え合うしくみをつくるなど、社会保障制度を充実させる方法があります。
- ・地方公共団体が地域の特色に合わせてさまざまな取り組みを行ったり、④住民が行政に働きかけやすくなったりします。

1 次のア～エは、それぞれ1950年(昭和25年)、1980年、2010年と、将来推計である2040年の日本の人口ピラミッドのいずれかを示しています。ア～エのうち、2010年にあたるものはどれですか。その記号を書きなさい。



2 下線部 ① に関して、右の表中の a～d は、1970年(昭和45年)と2010年の勤労者世帯における消費支出のうち、教養娯楽費、住居費、食料費、保健医療費のいずれかを示しています。次のア～エのうち、aにあたるものはどれですか。その記号を書きなさい。

- ア 教養娯楽費                      イ 住居費  
ウ 食料費                              エ 保健医療費

勤労者世帯における消費支出の合計とその内訳  
(1世帯当たり1か月平均)

年	1970	2010
合計(円)	82,582	318,315
項目 (%)	a	32.2
	b	9.2
	c	5.3
	d	2.6
	その他	50.7

(数字でみる日本の100年 改訂第6版による。)

3 下線部 ② に関して、右の資料は、国が地方公共団体にお金を支出する目的について示しています。次のア～エのうち、資料に示されている目的を実現するために支出されるお金はどれですか。その記号を書きなさい。

- ア 地方税                              イ 地方債  
ウ 国庫支出金                      エ 地方交付税交付金

資料

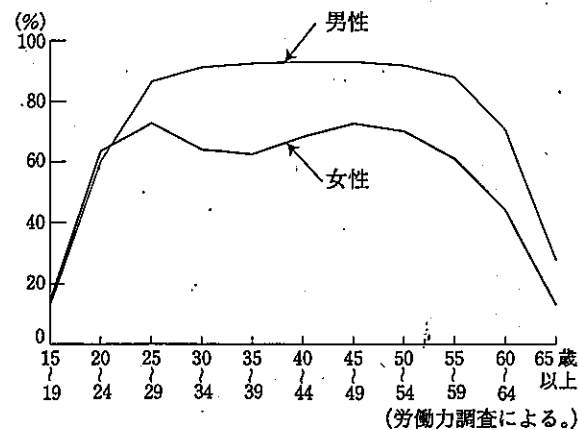


(総務省ウェブサイトによる。)

4 下線部 ③ に関して、次の資料は新聞記事をもとに作成したものであり、グラフは2010年(平成22年)の男女別の年齢階級別の就業人口の割合を示したものです。資料中の下線部について、この方針によって、女性が仕事を続けられるようになると考えられるのはなぜですか。その理由を、グラフをもとに、簡潔に書きなさい。

資料  
厚生労働省は、放課後等に小学生を預かる学童保育施設の定員を30万人分拡大する方針だ。施設を整備して、女性が仕事を続けられるようにする。5年後を目標に、現在の定員枠を広げる。

(平成26年5月21日付 日本経済新聞による。)



5 下線部 ④ に関して、次のア～エのうち、条例の制定や議会の解散など、有権者の署名を提出することによって住民の意見を政治に反映させる権利として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

- ア 請願権                      イ 損害賠償請求権                      ウ 直接請求権                      エ 違憲立法審査権

6 A班では、自分たちの主張を説明するための資料を探すことにしました。次のア～エのうち、A班の主張を説明する資料として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

- ア 人口増加率の高い国では、一人あたりの国民総所得が低い傾向にあることを示す表  
イ 人口増加率の低い国では、人口1万人あたりの医師数が多い傾向にあることを示す表  
ウ 日本への外国人観光客数が増加傾向にあることを示すグラフ  
エ 日本の総人口に占める生産年齢人口の割合が減少傾向にあることを示すグラフ

4 あるクラスの社会科の授業で、環境問題に対する北九州市の取り組みについて調べました。次の文章は、このときの生徒の会話の一部です。これを読んで、あとの1～4に答えなさい。

太郎さん：北九州市は、環境の改善のためにさまざまな取り組みを行っているね。国の承認を受けてエコタウン事業も行っているね。

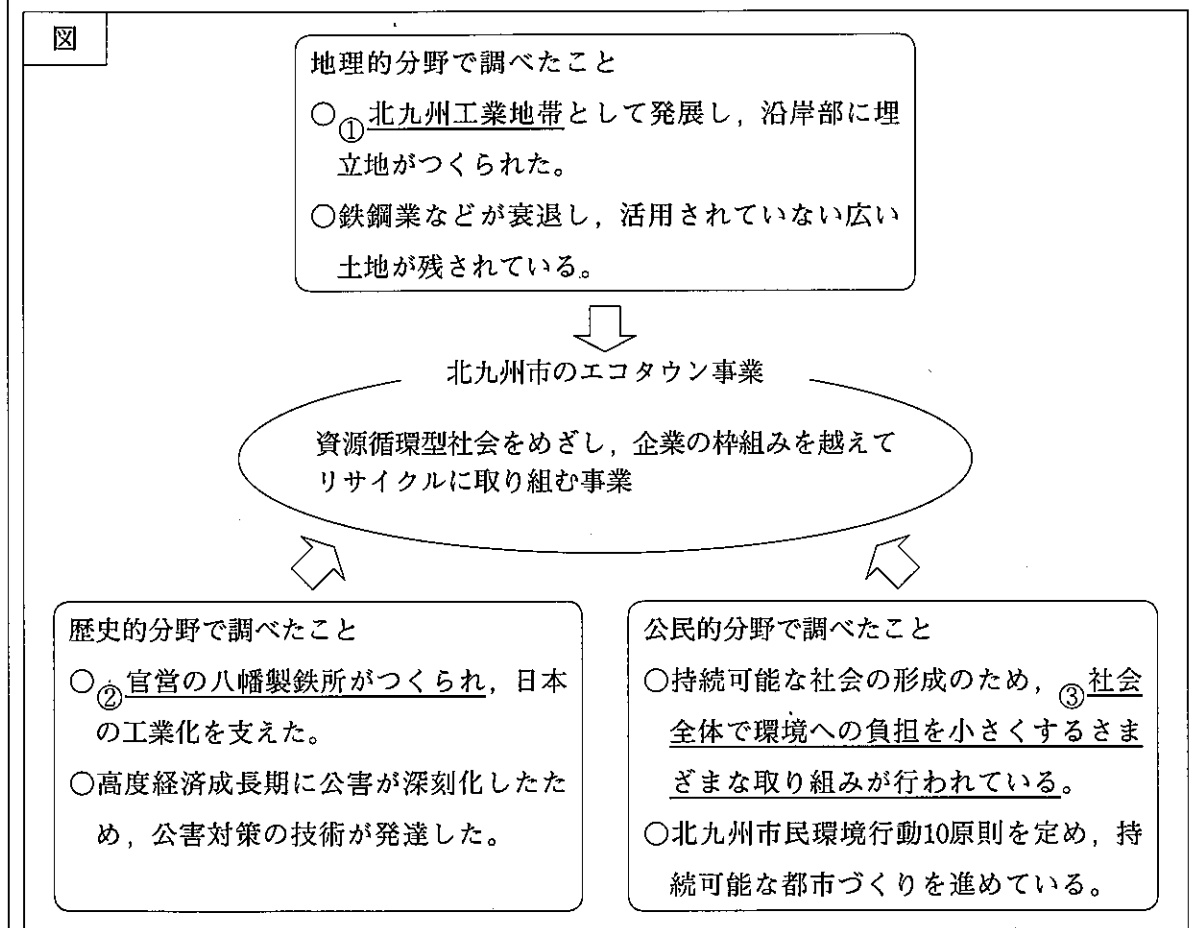
花子さん：北九州市のエコタウン事業ってどんな事業かな。

太郎さん：資源循環型社会をつくることをめざして、埋立地に家電や自動車などのリサイクルを行う工場を集めて、廃棄物を最終的にゼロにするという事業だよ。

花子さん：どうして北九州市はエコタウン事業を行っているのかな。

太郎さん：教科書やインターネットで調べてみよう。

2人は調べたことを図にまとめてみました。



花子さん：さまざまな背景があり、北九州市はエコタウン事業を行っているんだね。

太郎さん：④他の都市のエコタウン事業も調べてみようよ。

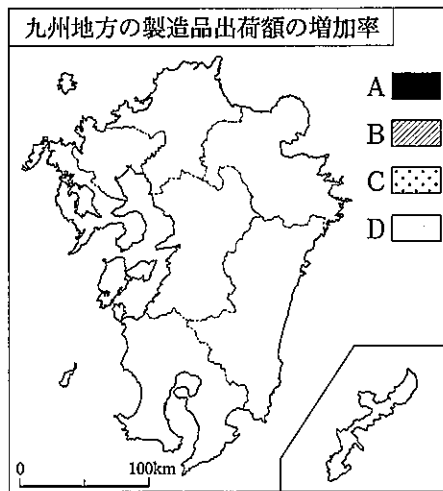
1 下線部 ① に関して、太郎さんは北九州工業地帯について学んだあと、右の表をもとに、九州地方の工業の様子について次の文章にまとめました。そして、この文章の内容をわかりやすく示すために、九州地方の製造品出荷額の増加率を、下の地図中のA～Dの表記により県別に四つの階級に区分して、地図を完成することにしました。下のア～エのうち、この文章の内容をわかりやすく示す区分として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

県	製造品出荷額 (億円)		増加率 (%)
	1990年	2010年	
福岡県	77,793	82,491	6.0
佐賀県	14,151	16,751	18.4
長崎県	13,591	17,510	28.8
熊本県	22,914	25,316	10.5
大分県	25,987	40,866	57.3
宮崎県	12,933	13,204	2.1
鹿児島県	16,794	18,385	9.5
沖縄県	5,497	5,726	4.2

(数字でみる日本の100年 改訂第6版による。)

太郎さんのまとめ

製造品出荷額が最も多い福岡県は、1990年から2010年にかけての製造品出荷額の増加率が低くなっている。一方で、増加率が最も高いのは大分県である。次いで長崎県が高い。さらに、福岡県に近い佐賀県や熊本県がこれに続く。このことから、北九州工業地帯の近くの県で工業がさかんになったことがわかる。これに対して、農業がさかんであると学習した九州南部の県や沖縄県では増加率が比較的低下している。



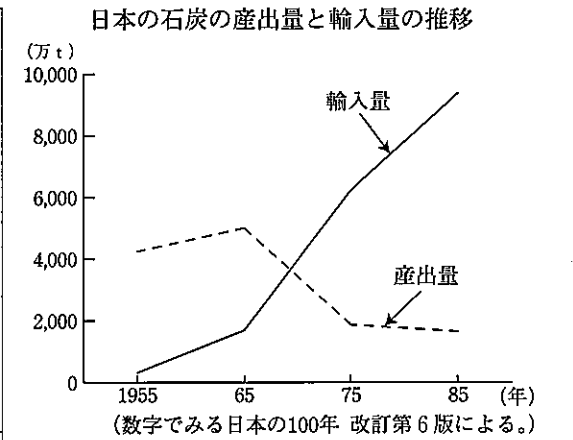
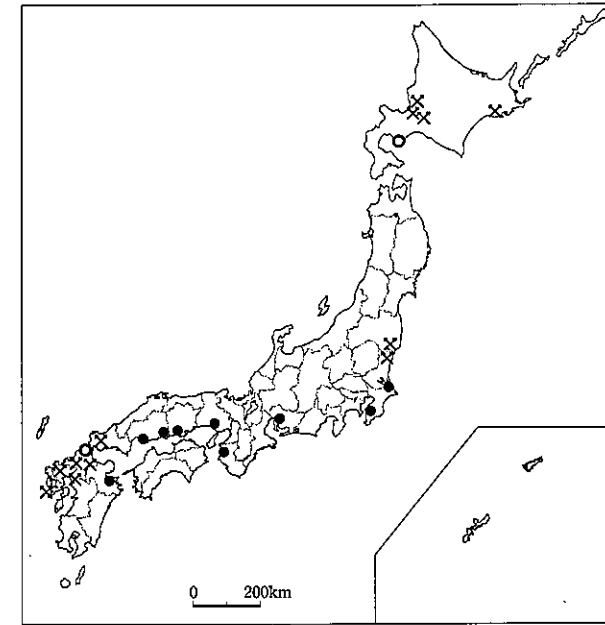
- |   |   |            |   |   |            |
|---|---|------------|---|---|------------|
| ア | A | 5%以上       | イ | A | 15%以上      |
|   | B | 3%以上5%未満   |   | B | 10%以上15%未満 |
|   | C | 1%以上3%未満   |   | C | 5%以上10%未満  |
|   | D | 1%未満       |   | D | 5%未満       |
| ウ | A | 30%以上      | エ | A | 60%以上      |
|   | B | 20%以上30%未満 |   | B | 40%以上60%未満 |
|   | C | 10%以上20%未満 |   | C | 20%以上40%未満 |
|   | D | 10%未満      |   | D | 20%未満      |

2 下線部 ② に関して、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 下線部 ② のできごとについて、次のア～ウは、このころの主なできごとを示しています。ア～ウと下線部 ② のできごとを、年代の古い順に並べると、下線部 ② のできごととは、どのできごととどのできごとの間に入りますか。その記号を書きなさい。

- ア 日清戦争が始まる。
- イ 第一次世界大戦が始まる。
- ウ 官営の富岡製糸場がえられる。

(2) 次の地図中の○は、現在操業している製鉄所のうち、1926年(大正15年)までにつくられた主な製鉄所のある都市を、×はこれらの製鉄所がつくられたころの主な石炭の産地を示しています。また、●は1955年以降につくられた主な製鉄所のある都市を示しています。製鉄所が、●に示された都市にもつくられるようになったのはなぜだと考えられますか。日本の石炭の産出量と輸入量の推移を示したグラフをもとに、簡潔に書きなさい。



3 下線部 ③ に関して、環境対策として、3Rと呼ばれるリデュース、リユース、リサイクルの取り組みがあります。次のア～エのうち、リユースにあたる取り組みはどれですか。最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

- ア 容器に詰め替えられる洗剤を購入する。
- イ 古紙を分別して回収してもらう。
- ウ 地元でとれた野菜を購入する。
- エ 商品を購入するとき簡易な包装にしてもらう。

4 下線部 ④ に関して、太郎さんは、エコタウン事業を行っている川崎市について調べ、次の資料のようにまとめました。川崎市がエコタウン事業を行っている背景として、北九州市とどのような点が共通していると考えられますか。資料をもとに、簡潔に書きなさい。

資料

- 川崎市の臨海部の産業道路から南の約2800haの地域で、廃棄物の再資源化などに取り組んでいます。
- 川崎市は、工場のラインや生産現場などを観光資源として観光ツアーを行っています。
- 川崎市は首都東京に隣接し、首都圏の中央部に位置する利便性の高い立地環境にあります。
- かつての深刻な公害問題の克服に努めてきた川崎市には、公害防止技術や環境技術などを有する多様な企業が立地しています。

(川崎市ウェブサイトによる。)